

# 教育委員会からのお知らせ

平成24年6月 四日市市教育委員会



平成24年度 第1回課題検討会議が開催されました

## 子ども・保護者・地域の思いを大切に

本年度第1回目の「三浜小・塩浜小学校学校規模適正化に関わる課題検討会議」が開催され、関係学校長、PTA会長ならびに関係自治会長の皆さんをはじめ、たくさんの方にお集まりいただきました。年度が変わり、新しい顔ぶれでの会合ということで、お互いに挨拶を交わしたあと、教育委員会から昨年度の経緯を報告しました。また、本年度の三浜小学校PTA総会で行ったアンケート調査の結果について、会長様よりご報告をいただきました。

### 三浜小学校PTA総会より

「先代のPTAが、①通学路の安全を確保すること、②複式学級になるまでは統合をしないことの2点を『保護者の総意』として、平成22年9月に市へ要望しました。本年度のPTA総会においても、この『総意』の継続に賛成か反対かを問うアンケートを全世帯に実施しました。その結果、全58世帯中、55世帯(94.8%)が『総意継続』に賛成でした(昨年度は96%)。残り3世帯は、『総意継続に反対(=総意に関係なく統合に賛成)』でした。昨年度から、小規模校のメリット・デメリット等について教育委員会と意見を交わしてきましたが、三浜小保護者としては、本年度も平成22年度の『総意』を継続しながら、話し合いを進めていきます。」 (H24年度三浜小PTA会長)



本会議では「三浜小保護者としても、複式学級は避けたい。通学路の安全確保が第一である。総意の条件二つがクリアできたら『統合』ということでもちがいない。(三浜小学校PTA会長)」とのご意見をいただいています。まずは、安心・安全な通学路について、より具体的な議論を重ねることが大切であると考えます。

### その他のおもなご意見

- ・通学路の安全確保は教委の役割である。早めに改善し、具体的に提案してほしい。(三浜小関係者、自治会関係者)
- ・学校がなくなるということは、地元にとって大きなことである。跡地について、文化施設など検討してほしい。(自治会関係者)
- ・三浜小と塩浜小では、統合に対する保護者の温度差が大きい。塩浜小の保護者にも危機感を持ってもらいたい。(塩浜小関係者)
- ・少人数教育も一理あるが、三浜小では浜田小のような大規模な活動ができない。子どもは子ども同士の関わりの中で育つ。体育は2学年合同で実施しているというが、それ自体がすでに複式の始まりではないか。(浜田小関係者)



教育委員会では、今後も保護者や地域の方々の思いを大切にしながら、検討を進めていきたいと考えています。

### 【お問い合わせ】

四日市市教育委員会  
教育総務課  
政策グループ  
☎ 354-8237